

H29年 日本RC模型グライダー協会（JRGA）理事会 議事録

日 時：平成29年2月12日(日) 13:00~16:00

場 所：大阪府吹田市津雲台4丁目9番1号 あやめ保育園

参加者：長谷川名誉会長、橋本会長、櫻井理事長（愛知）、浅野（大阪）、濱田（群馬）、
宮川（埼玉）、関根（東京）、市村（神奈川）、森尾（奈良）、柳本（兵庫）、
篠原（香川） 計11名

はじめに：

- (1) 長谷川名誉会長：特別参加され、ご挨拶を頂いた。
- (2) 森尾理事：昨年理事に任命され、初参加となるため自己紹介を兼ねてご挨拶を頂いた。

議事

1、橋本会長：挨拶

改正航空法が施行されて1年、グライダーは初期高度で規制対象となってしまいが、各地区で申請を行い安全に運営していることに感謝。

場所の問題もあり模型グライダーの人口が減っている（特に若手が少ない）。その対策としてもJRGAが中心になって活動する必要がある、興味を持っている人、過去に飛ばしていた人などにも声をかけて誘ってほしい。

2、理事会開会宣言：櫻井理事長

理事総数19名中、出席11名、委任状提出5名（過半数の理事承認により理事会は成立）

3、書記の選任：櫻井理事長が篠原理事を指名し承認された。

4、H28年決算報告：濱田理事、浅野監事

会計条項および、監査結果が報告され、承認された。

その際、京都市の田井様（JRGA267）から昨年寄付金（4万円）があったことが報告され、会計報告の2016年収入の内訳として追記する案が出され、可決した。

5、報告・審議事項：各理事

(1) 会員登録状況報告：篠原理事

2017年2月1日時点の有効会員数は167名。昨年は4名の新規入会者があったが、総会員数としては5名の減。会費納入状況から見て今年度はさらに減少の可能性が報告された。

(2) 航空法に関連して

各地区の申請状況や内容について報告。その中で市村理事から玄岳での事例含めてJRGA番号による申請が提案された。JRGA会員増加の一手段としての側面含め運用について協議し、JRGA会則第7章競技会等の第3条に対する下記変更案が審議され、承認された。

現 在：第3条 競技に参加する機体の規則は別に定める。

変更後：第3条 使用する機体の仕様は日本模型航空連盟規定による。

(3) 競技会スケジュール調整：宮川理事

2017年日本選手権は別紙競技カレンダの日程でF3B、3K、3J、5Jを上里で開催。各地区の競技会も競技会カレンダの案にて承認された。

また、西日本でのF3B予選開催場所については、柳本理事、篠原理事により調査・調整。

(4) JMA 理事会報告：浅野理事（JMA グライダー委員の児山理事代理）

- ドローンがF3UとしてFAIの正式カテゴリーとなり、JMAでもF3U委員会が設立。今年度から活動を開始する。
- 2018年7月に北海道滝川スカイパークにてF5D、F5Bの世界選手開催予定。
- 模型人口のすそ野拡大を目的に、競技会の補助金支給（50,000円）を2018年から実施することを検討中。年間3大会まで、JMA公認競技会として申請することで認可。10月までに申請候補とする競技会を検討し、協議する。
東北（宮川理事）、関東（関根理事）、関西 or 四国（柳本理事、篠原理事）
- 2017年世界選手権日本代表選手の状況
F3K：世界選：木島明良選手のみ確定、残り2名は未定
F3B：櫻井尚人選手、宮川良男選手、吉武朗選手

(6) 滑空記章に関して：篠原理事

—昨年末にB章の申請があったが、認定証、認定バッジの在庫が無く対応が遅れている。昨年夏に認定証は印刷し申請者に送付できたが、バッジの送付が出来ていない。バッジ制作の工芸店に当たったが、コストが問題（最少ロットで5万円前後）で未作成。下記に見積もり依頼して検討する。
JRGAメダルを依頼している、清水工芸に確認（宮川理事）
中国のメーカーに打診（浅野理事）

(7) 理事会メーリングリストの作成：関根理事

理事間での連絡用にメーリングリスト作成案が関根理事会提案され、承認された。メーリングリストの作成・管理は正：関根理事、副：篠原理事にて行うことに決定。

(8) その他 各理事からの近況報告

濱田理事：F3J世界選の話題

市村理事：玄岳活動状況、F3Fルールに沿った競技会の実施検討

関根理事：霧降高原（栃木）での元放牧場利用

他

6、次年度理事会開催予定

H30年2月4日（日） 東京にて（会場詳細は別途連絡）

以上